

への理解と協力, 地域保健機関を含めた協議の場の運営, 日常の活動における事業場外保健資源との顔の見える形での連携・協力活動を展開することが大切であると思われる。

3. 小規模物流事業場での自主的職場改善活動「プロジェクトM」の取り組み

○服部 真 (石川勤労者医療協会城北病院)

物流事業所の中央安全衛生委員会が決めた管理者全員が衛生管理者資格を取ろうという方針に従い, 1つの事業場 (従業員 29 人) で衛生管理者資格を取った事業場長が発案して, 独自に安全衛生委員会を開催し, 労働安全衛生マネジメントの手法を取り入れ, 「プロジェクトM」と名づけて職場の危険源のリスト作成, リスク評価, 改善提案・実施と監査などに全職員で取り組み始めた。職員全員にアンケートを実施して危険源のリスト作成と重み付けを行い, 改善策提案を全員参加のグループ討議で行った。産業医の職場巡視で職員の評価では重視されなかったが, 重要と思われる点を追加した。安全衛生委員会で実施方法を決め, 改善実施情報を毎月「プロジェクトM」便りで全職員に通知している。この事業所は健康診断での腰痛所見や残業時間が他の事業場より少ないなど健康指標や業務改善にも効果が波及している。安全や健康を重視する組織文化が広がってきたためと思う。

平成 16 年度東海地方会学会*

<特別講演>

産業医学における神経・行動影響とその評価法

横山和仁 (三重大学公衆衛生学教室)

座長: 竹内康浩 (名古屋大学名誉教授)

<シンポジウム>

職場復帰をどう進めるか ~企業の現状と今後の展望~

座長: 野木孝眞

(関東自動車工業 (株) 東富士健康管理センター)

1. 職場復帰支援モデル事業について

田中克俊 (北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学)

2. 職場復帰支援システムについて

住吉健一 (旭化成 (株) 富士支社健康管理センター,
静岡産業保健推進センター)

3. 当社の職場復帰の進め方

伊藤雅代

(キヤノン (株) 富士裾野リサーチパーク健康管理室)

*平成 16 年 11 月 27 日 (土) 10:00~16:15 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

学会長: 斎藤俊二 (東海検診センター)

<一般演題>

1. クラスタ分析を用いた実験動物による毒性評価の試み

○小林克己¹, 中村晴信², 竹内宏一^{2,3}

(¹財団法人食品農医薬品安全性評価センター,

²浜松医科大学公衆衛生学講座,

³財団法人静岡県予防医学協会)

反復投与毒性試験データを用いクラスタ分析によって毒性量および無毒性量を視覚的に判断できないか検討した。従来の, 各測定項目を対照群との比較検定結果, 中用量群が無毒性量と判断された。クラスタ分析は, 2通りを実施した。一方は対照群に対して5%水準で有意差の付いた項目のみを, 他方はほぼ全項目を分析に供した。結果, 前者は, 対照, 低用量および中用量群がほぼ同じクラスタに分類され, 無毒性量は中用量群以下と推測できた。同様に, 後者は無毒性量が中用量群または高用量群と推測できた。本結果より, 対照群に対して有意差を示した項目についてクラスタ分析を実施した方が全項目を解析するのに比較して毒性量を把握できることが示された。病理所見や尿検査などの定性所見等もスコア化すれば本分析に応用できる。したがって, 毒性試験を従来のように各測定項目を輪切りで考察する手法に比較して, 第三者に毒性量を伝えるには, 視覚的に優れている可能性が示唆された。

2. トルエン低濃度曝露環境における尿中馬尿酸およびクレアチニン補正值と季節影響

○松田 元 (松下電工 (株) 四日市)

有機溶剤作業環境測定第1管理区分の塗装ライン (主にトルエン使用) において, 尿中馬尿酸, 尿中クレアチニンを測定した。冬季と夏季の結果から, 両測定値および尿中馬尿酸のクレアチニン補正值への季節影響を検討した。冬季には補正前後で馬尿酸値に有意差なく, 夏期には未補正值が有意に高かった。トルエン低濃度曝露環境下で尿中馬尿酸が高値を示す場合, 食品等の影響のみでなく, 尿の濃縮にも注意を要することが再認識された。

3. アクリロニトリル曝露がテストステロン濃度に与える影響—疫学と動物実験による解析

段 志文, 上島通浩, 那須民江

(名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学)

アクリロニトリル (Acrylonitrile, AN) のテストステロンへの影響を疫学と実験の両方から検討した結果を報告する。8週齢 Wistar 雄ラット 80 匹を, 0, 5, 15, 25 mg/kg の4つの投与群に分け, 6回/週, 連続11週間皮下注射投与した。投与開始から第38日と第77日に, それぞれ10匹ずつラットを Ether で麻酔し, 腹部動脈から採血して, 血清の Testosterone (T), Luteinizing